

豊田 耕三

ティン・ホイッスル & アイリッシュ・フルート クラス  
門下生発表会

2022/7/17

13:00 Open 13:30 Start

Irish Pub The Shannons'@神田

【タイムテーブル】

- 13:00 開場  
13:30 開演 発表開始  
16:00頃 ゲストを交えたミニライヴ  
集合写真撮影  
16:45頃 セッション  
18:00 終了  
そのままパブで打ち上げ

【お願い】

- ・お飲み物は各自カウンターでご購入下さい。
- ・食べ物はカウンターに並んだものをお召し上がり下さい。  
今回は感染症対策として一人一皿の個別提供となっております。
- ・飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。
- ・動画撮影は本人、もしくは身内のもののみとさせていただきます。  
特に一般の観覧のお客様による許可のない撮影はご遠慮下さい。

【第一部 門下生による演奏】

T=武田、U=梅田

- 1 T 大沢明美、山崎和子、栗田智子、石井友香子 (Wh)  
Eaves Dropper / Mistcovered Mountain / Banish Misfortune
- 2 T 高橋美弥子 (Wh)  
Christy Barry's No.1 / Christy Barry's No.2 / Banish Misfortune
- 3 T 高橋佳奈子 (Fl)  
Flying To the Fleadh / Palmer's Gate / The Road To Errogie
- 4 T 小林菜つみ (Wh)  
Humours of Ballyloughlin / Helvic Head
- 5 T 酒井正裕、菊池英友、鹿野千佳、宮澤智子 (Wh)  
Kesh / Swallow Tail Jig / Tripping Up the Stairs
- 6 T 吉田貢 (Wh)  
Horse Keane's / Independent Hornpipe
- 7 T 荒木真理子 (Wh)  
Concert Reel / Salute to Baltimore
- 8 T 佐藤和也 (Fl)  
An Suisin Ban / Galtee Hunt / Blackbird
- 9 T 櫻井良子、鹿又美里、太田宏一 (Wh)  
Hunter's Purse / Man of the House / Foxhunter's

休憩（10分間）

- 10 U 堺谷淳一 (Fl)  
Roscommon Reel / Scotch Mary / Touching Cloth
- 11 U 大谷裕季子 (Wh)  
Ships in Full Sail / Leitrim Jig / The Humours Of Drinagh
- 12 U 堀浩子 (Fl)  
Pipe on the Hob No.1 / Pull the Knife and Stick It Again
- 13 U 齋藤恵 (Wh)  
Ballydesmond No.1-3
- 14 U 高橋丈(Fl)  
Green Fields of Rossbeigh / Devanny's Goat / Rookery
- 15 U 我田絢子 (Wh)  
Peeler's Creek / Tommy Peoples'
- 16 U 鈴木由衣 (Fl)  
Dublin Lasses / Anderson's / Sweeney's Buttermilk
- 17 U 古山雅子 (Fl)  
Na Maithe Móra / Palmer's Gate / Fr. Grady's Visit To Bocca
- 18 U 宮原未羽 (Fl)  
Murphy's Hornpipe / Waiting for You / Jolly Tinker

## 【第二部 ゲストを交えたミニライブ】

武田 良平（ブズーキ）

1968年生まれ。乙女座A型。90年代後半からアイルランド音楽に目覚め、普通のサラリーマンのかたわら2001年頃からアイリッシュブズーキをJim Ediger氏に師事。以後都内を中心にアイリッシュパブ等におけるトラディショナルミュージックセッションで伴奏を務めるほか、「すらいごめいと」などのユニットでライブ活動を不定期で行っている。

梅田 千晶（ハープ）

クラシックのテクニックをベースに、アイリッシュのスタイルをKathleen Loughnane、Janet Harbison 両氏から学ぶ。スウェーデンではニッケルハルパ奏者のLeif Alpsjo 氏より伝統音楽を学ぶ。2012年11月「Chieftains」来日公演でトリビュートバンドLady Chieftainsのメンバーとして共演。同バンドにて2013年10月首相公邸でのパーティ演奏参加。2014年1月Holland Museum（スウェーデン）で演奏。2015年夏と秋にゲーム音楽の人気作曲家光田康則氏の20周年コンサートメンバーとして東京・台湾公演に参加。同年末サラ・オレイン氏のコンサートサポート、東京FMの番組にゲスト出演。イーリアンパイプスとのデュオ「生梅」、バイオリンとアイリッシュフルートとのトリオ「nabana」、和楽器バンドの尺八奏者神永氏をリーダーとするゲーム音楽を演奏するバンド「風とキャラバン」等に所属。CM、映画、ゲーム音楽等各種レコーディングに参加。伝統音楽以外のジャンルでも活動の幅を広げている。

豊田 耕三（アイリッシュ・フルート&ティン・ホイッスル）

東京芸術大学卒、同大学大学院修了。同大学ケルト音楽研究部（g-celt）やICF等を立ち上げる。2016年アイルランド伝統音楽の祭典フラワー・キョールのコンペティションで、ティン・ホイッスル・スローエアー部門3位入賞。『スーパー・マリオ・オデッセイ』、NHK連続テレビドラマ小説『ゲゲゲの女房』他、多数の録音に参加。O'Jizo、Toyota Ceili Band等複数のアイリッシュ系バンドを主宰。O'Jizoは2021年、カナダのGoderich Celtic Roots Festival - Robinson Emerging Artist Showcaseを勝ち残り、2022年夏に現地のフェスティバルに出演。地元千葉県船橋市の二宮神社の神楽囃子お囃子神楽連にも所属し、篠笛を中心に伝統芸能の担い手としても活動中。<http://www.kozo-toyota.com/>

## 【ご挨拶】

本日はご来場頂き、ありがとうございます。11回目の発表会は実に3年ぶりの開催となりました。この苦しい2年半はアイリッシュ音楽やダンスにも大きな影を落としました。たくさんのパブが閉店になり、セッションが無くなりました。ライブも長い間思うようにできませんでした。ダンスに至っては壊滅的でした。そして、人と会って人と合わせて初めてその本当の楽しみがわかるアイリッシュ音楽からセッションが抜け落ちてしまうと、当然モチベーションが上がらず、アイリッシュ音楽から離れてしまっている門下生の方もたくさんおられます。そんな中で、それでも何とかレッスンに通い続けた方、一時中断したけど再開した方、そして、家に居続けるしかないこの時期だからこそ新たに始められた方、様々なスタンスの方が一堂に会して、久々の発表会の開催となります。こうして再び集まれる喜びもひとしおですが、これを機にまた少しずつ皆さんと過ごせる楽しい時間を増やしていただけることを願っています。

豊田 耕三